

<アイデア>

【ねらい】

既習表現(感想や理由を述べるなど)を活用・発揮して、自分に起きたことについて意見をもたせて、その理由も含めて表現させることで、ディベート指導へと発展させる。

身近なことに自分の意見を述べる

例えばこんなときに使ってみてはどうでしょう。

生徒にとって、より現実味があるディスカッションのトピックはないかな。

教科書にあるディスカッションのトピックよりも、もっと身近な内容を扱えば、話そうとする意欲が高まるかも。



気軽に短時間でディスカッションできないかな。ディベートにつなげていく活動がほしい。

生徒への提示

学校行事を英語で振り返ってみよう。

学校行事のような、生徒が関与していることをトピックにして、話し合いをしようということです。



身近な学校行事として、学校祭を取り上げてみました。
学校祭の振り返りを「喜怒哀楽」とともに振り返ります。

ワークシートをつくるならば、単純なものがいいでしょう。

The School Festival Four Opinions

1. I was happy because _____.
2. I was angry because _____.
3. I was sad because _____.
4. I enjoyed the festival because _____.

意見交換をさせる前に、
生徒各自が自分の考えを
まとめる時間を確保します。

次にペアの時間を取ります。
ペアは短時間に機械的に
どんどん変えます。
(詳細はスライド6参照)



次も学校祭を題材にしますが、それぞれの意見に賛否を表明します。そのように考えた理由も説明します。

【テーマ例】 実際に生徒から出た意見であれば、さらによいです。

- ① 準備のための40分授業はやりすぎ。通常の短縮の45分授業でよい。
- ② 一般公開時間が短い。全部展示を見ることができない。15時までとするべき。
- ③ 飲み物を販売する模擬店を増やしてほしい。今年は暑くて、のどが乾いた。

個別→ペア(短時間で機械的に変える)の流れ, 中間指導を行います。詳細はスライド6を参照してください。

テーマの数は適宜調整してください。6題用意して, サイコロの目でテーマが決まるという方法もあります。

「聞き手が, 話の内容に一つ反論するので, それにさらに反論する」となると難易度が高くなり, 即興のやりとりも試されます。一方通行でもなくなります。実態に合わせて, ご活用ください。



次は身近な社会的なことをテーマにしています。賛否とその理由を表明することは同じです。

【テーマ例】

1. High school students should be allowed to do part-time jobs.
2. Our school is a good school.
3. Akita is a good place to live in.

個別→ペア(短時間で機械的に変える)の流れ, 中間指導を行います。詳細はスライド6を参照してください。

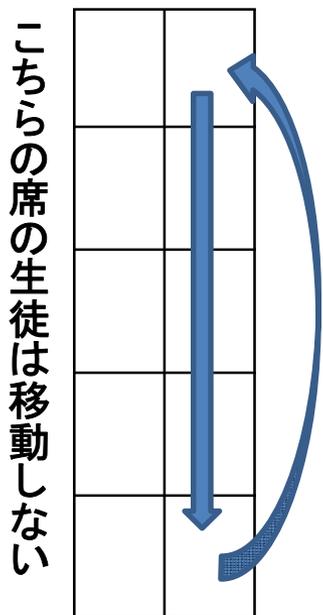
テーマの数や内容は適宜調整してください。6題用意して, サイコロの目でテーマが決まるという方法もあります。アニメなどから題材を探すこともできます。

「聞き手が, 話の内容に一つ反論するので, それにさらに反論する」となると難易度が高くなり, 即興のやりとりも試されます。ALTに反論してもらってもいいでしょう。



これがペア練習と中間指導の流れです。

- ① 最初に隣同士 **短時間でどんどん動かします。**
- ② 例えば下図のように機械的に相手を変えて、ペアで練習させます。
これを繰り返します。



先生は生徒間を歩き、「これが分からない」というつぶやきやよいペアを探ります。

2～3組が終わったあたりで一度活動を止めます。
中間指導では、次の三点に注意してください。

- ① 生徒にとって難しい表現の援助
- ② よいペアの紹介
- ③ 多く見られるつまずきの支援

途中にどんどん上手になっている自分に生徒が気付けば、なおよしです。

このアイディアのポイント

- 1 自分の身の周りで起きていることについて、論理的に自分の意見を主張することができる。
- 2 デイベートの入門的な活動として期待できる。